

三中だより

令和 7 年 1 月 16 日 (木)

大田区立大森第三中学校

校 長 笛 木 啓 介

令和 6 年度第 11 号 大田区中央 4 - 1 2 - 8

新年あけましておめでとうございます。令和 7 年が幕を開けて 1 週間、三学期の学校生活も始まって本格的に今年が始まったように感じます。地域や保護者の皆様もそれぞれに新しい年を迎えられたことにお喜びを申し上げます。今年も、大森第三中学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

今年の干支は「へビ」です。ところで、干支とは本来「十干十二支（じっかんじゅうにし）」を略した呼び名で、「十干」と「十二支」を組み合わせたものです。「十干」とは、甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸のことで、1 から 10 までものを数えるための言葉です。昭和の初期まで身近に使われていましたし、今でも目にすることもあるかもしれません。A、B、C…やア、イ、ウ…などのように順番を示す記号のように使われていました。この 2 つの組み合わせは全部で 60 通り、そのうちの今年の干支は「乙巳（きのとみ）」となります。

60 通りなので、前回の乙巳は、1965 年です。この年は、戦後復興が進み、前年に最初の東京オリンピックが行われたり、東海道新幹線が開通したりと、日本が高度経済成長期に向かう入り口のような年だったようです。ちなみにその前の乙巳の年の 1905 年は日露戦争が終結して、日本は大陸への進出を強め、一般民衆が自分達のための政治を求めて様々な運動を起こしていき、大正デモクラシーにつながっていくのは、社会の歴史で学習した通りです。もっと古くは 645 年の「大化の改新」があったのも、「乙巳」の年です。中大兄皇子と中臣鎌足を中心に、天皇を中心とする国家体制を目指して、蘇我氏は討たれ、班田収授法や

租庸調の税制などが取り入れられたのも、歴史の教科書で習った通りです。こうしてみると、「乙巳」の年は世の中の大きな変革のきっかけとなった出来事が多かったようです。ちなみに、乙巳ではありませんが、1989 年も巳年でした。この年は、「昭和」が終わり「平成」がスタートした年でした。

へビというと、によろによろとしていて、一見とっつきにくい印象もあるようですが、こうしてみると、さきほど述べた新しい時代の先駆けのイメージも出てきます。大きな課題という壁の隙間をすり抜けたり、乗り越えたりしながら次の時代への道筋をつけていく先鋒のような役割を感じます。さらに、蛇は脱皮をして一回り大きく成長していくことから、「新しく生まれ変わる」「幸せな未来にむかって挑戦していく」という前向きな意味もあるそうです。へビの進む姿から、目の前の課題に対してくねくねとアプローチして乗り越えていく、解決策を見つけていくという良い意味でもとらえられます。そうしたへビのイメージになぞらえて、今年一年を、課題にチャレンジすることで自分の成長につなげていってほしいと思います。

いよいよ三学期です。年の初めとして、この 1 年をどのように過ごして自分を成長させるのかを見つめる時期であるとともに、学校の一年間で考えると、この一年間のまとめの時期でもあります。生徒一人ひとりが、自分のこれまでの取り組みをしっかりと見据えて、一年間の成果を実感して、それをもとにさらに自分の将来へとつなげていける年となるよう、教育活動を進めてまいりたいと考えております。

スクールカウンセラー出勤予定日

藤田 啓子	1/14(火)、1/21(火)、1/28(火)
鳥海 真里	1/15(水)、1/22(水)、1/29(水)
田中 典子	1/17(金)、1/20(月)、1/27(月)

※大森三中 相談室直通電話
(3773) 7831

1 月の行事予定

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水
漢字検定 16:00 都立推薦選抜発表	席書会 於池上会館			都立高校 推薦選抜	都立高校 推薦選抜	第 5 回 補習教室	英語検定 16:00 〃	オーケストラ鑑賞教室(2) 午後					ものづくりフォーラム 於産業プラザ Pio	避難訓練(地震)交通安全教室(2) 和楽器授業①	中央委員会 16:00 〃	小中一貫教育の日	和楽器授業(1)	成人の日			安全指導 専門委員会	①③ 給食なし	始業式	冬季休業日終				学校閉鎖期間(1月3日迄)		元旦

1 年生 福祉体験の授業を行いました

12月20日(金)に、1年生は、人権教育の授業として、福祉体験の授業を行いました。大田区福祉課のみなさまにご協力いただき、障がいをおもちの方からお話をお伺し、白杖や車いす、手話の体験をしました。相手のことを理解して行動することの大切さ、みんなが過ごしやすい社会について考えることができました

手話以外にも、空書や指文字、口語など様々な方法で伝えたいことを伝えられると知って、驚きました。耳が聞こえない方の大変さや気持ちがよくわかり、みなさんが言っていたように、障がい困っている人がいたら、勇気を出して声をかけてみようと思えたお話でした。

(1 年)

最初は目が見えなくてとても怖かったけど、ペアの子が「あと何mで細い道あるよ」「何cmくらいの段差だよ」と声をかけてくれたので、少し歩きやすかったです。また、自分がヘルパーの時は「もうすぐで細い道になるからかに歩きして」「段差があるから一旦止まって」など、できるだけくわしく説明してペアの子が怖くならないようにがんばりました。今回の体験を通して町で困っている人がいたり、危ない場所に行ってしまうような人がいたら声をかけられるような人になりたいと思いました。

(1 年)

実際に白杖を使ってみると、ただ真っ直ぐ歩くだけでこわくて、視覚障害のある方が普段どれだけ工夫して生活しているかが分かりました。また、サポートする人の存在の大きさも実感しました。今後、白杖を使っている人を見かけたら、「大丈夫ですか。」と声をかけ、今回学んだ方法でサポートしたいと思います。

(1 年)

車いすを初めて体験して、思った以上に人に押してもらうことが怖かったです。特に後ろ向きで段差から降りるときがとても怖く不安な気持ちになりました。車いすを利用している方は、普段からこのような怖く大変な思いをしていることが、今回の体験でより一層わかりました。これからは自分のできること(困っている人を助けるなど)を積極的にしていきたいです。

(1 年)



2 年生 職場体験報告会を行いました

9月17日～19日に行った職場体験の事後学習として職場体験報告会を行いました。事業所ごとにプレゼンテーションを作って発表しました。3日間お世話になった事業所の方や保護者の方にも参観していただきました、ありがとうございました。職場体験で学んだことを、自分たちの将来を拓くことにつなげていきましょう。

事後発表練習のときよりもハッキリ話せて、緊張しないで発表することができて、達成感を感じました。何日も時間をかけて班員とスライド作りをしたり、ローテーションの確認、どうすれば上手に聞いている人に伝えられるかななどの問題を解決するのがんばりました。これからの学校生活で、3日間の職場体験が、今後に生かせるようにがんばりたいです。

(2 年)

今回の事後学習を通して、自分が職場体験で何を体験し、どのようなことを学んだのか、それらを整理することができたのがよかったです。他班の発表では、児童館や図書館などの多くの人が利用する施設での裏側の仕事について詳しく知ることができたのがよかったです。

(2 年)

職場体験事後学習を通して、ケンタッキー・フライド・チキンについて詳しく学び、職場体験の振り返りができました。クイズをすることで、ケンタッキー・フライド・チキンの仕事への理解を深め、体験内容なども振り返ることができ、良かったです。学んだことを今後生活に生かしていきたいと思います。

(2 年)

最後に時間が余ってしまって計画通りにいかなかったのですが、緊張した中でも、しっかりと間違えずにはきはぎと発表できました。そして、スライドではアニメーションを使ったり、イラストを多く取り入れて分かりやすくなりました。これからは、職場体験のことやこの事後発表会の貴重な体験を忘れずに、将来に役立てられるようにがんばります。

(2 年)

今回の事後発表会は職場体験で、仕事はどのようなものかを考えるよい機会でしたが、今回の各チームの発表で、さらに考えが深まったことと思います。他のチームの発表を聞いて、楽しかったことやきつかったこと、やりがいなど、違っていたり共通だったところがあり、学ぶことがたくさんありました。

(2 年)

